

第2ステップ課題作文

1. テーマ：「私にとっての“幸せ”とは？」

まず、今回の課題で考えてもらう「幸せ」とは、一時的な「心地よさ」や「嬉しさ」とは違います。「休みの日に昼まで布団でごろごろしている時が一番幸せ」とか、「〇〇の大会で優勝できたのが一番嬉しかった」といったことを書いてほしいわけではありません。ここでは、より深いところにある「自分はこうありたい」という願望・欲求を文章にしてもらうことがポイントになります。

たとえば、作文のテーマを次のように言い換えてもいいでしょう。あなたにとって、何が実現できれば or 実現できていれば、「私の人生(まずまず)満足」と思えるでしょうか？ 答えは人ごとに違ってくるとともに、またその人の性格や価値観を反映したものになるでしょう。それは、「親しい人たちと仲良くしながら、穏やかに暮らせていけば、満足」かもしれませんし、「常に目標をもち、それに向かってチャレンジしつづけることが幸せな人生」かもしれません。あるいは、「お金の不自由なく暮らせればそれで満足」とか、「一生続けられる仕事を持てれば自分は幸せ」と思う人もいるでしょう。このように、**自分が人生において大切にしていること、求めているものを言葉にしてみてください。**

第1ステップと同様、文字数は任意(大まかな目安として1000字程度)。ただし、以下のポイントに留意してください。

- ① 内容：自分が何に「幸せ」を感じるのかを、なるべく明確に言葉にすること。
- ② 表現：それを「幸せ」と感じる理由や、きっかけとなる過去の経験を語ること。

2. 導入テキスト

	作品名
・リーディング・プラクティス:	① 手嶋英貴「庭の手入れをするような」
	② 佐藤愛子「思いやり」
・今週の読書(各自)	③ 佐藤愛子「結婚・その城の幻影がくずれるとき」
・Web アンソロジー:	④ 先輩佳作「羊の中の狼」
	⑤ 先輩佳作「結婚なんてしたくない」

3. 取り組みの手順

日程 (授業で明示)	自習事項
/ (土)	各自プライベートの時間に、佐藤愛子「結婚・その城の幻影がくずれるとき」を読む
/ ~ /	<ul style="list-style-type: none"> ・「Web アンソロジー」2作品を閲覧・読解し、各作品に「一言コメント」を記入する。 ・導入テキストを全て読んだら、それを参考にして課題作文「私にとっての“幸せ”とは」を作成
/ ()	課題作文提出締め切り：23:00 (Web 上で提出)